

## <平成 24 年度の主な事業>

第 6 次小樽市総合計画の「まちづくり 5 つのテーマ」等に基づき本年度実施した主な事業は次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大 (括弧内の金額は予算現額)】

### A【まちづくり 5 つのテーマ】

#### 1. 心豊かに学び、地域文化を育むまち（生涯学習）

- ☆① 特別支援教育業務経費 20,793千円(20,888千円)
  - ・LD（学習障害）やADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症などの障がいのある児童・生徒を支援するため、特別支援教育支援員を平成20年度から配置。配置要望のある学校に対し年次計画で支援員を配置
  - ・平成23年度 小学校15名 → 平成24年度 小学校20名に増員
- ◎② 指導力向上教員研修会開催経費 419千円(457千円)
  - ・児童生徒の学力向上に求められる教員の資質、能力向上のため実践力を高める研修会等を実施
  - ・[国語] 国語科研修講座
  - ・[生徒指導] 「アセス（学校環境適応感尺度）」活用研修講座
  - ・[教育課程] 授業改善実践講座（先進市視察を活かした授業力向上研修）
- ☆③ 校務用パソコン整備事業費（中学校） 2,790千円(3,439千円)
  - ・教職員用パソコン130台を中学校に集中配備し、校務の情報化を進める
- ◎④ 学校情報ネットワーク環境整備事業費 17,947千円(18,142千円)
  - ・児童生徒情報等の適正な管理を推進するため、全ての教職員用パソコンについてセキュリティ機能等を強化したネットワークに接続するとともに、光回線の導入によりパソコンを活用した授業をスムーズに進める
- ⑤ 校舎等の整備 718,603千円(827,027千円)
  - 校舎等増築及び耐震補強等事業費（花園小） 335,515千円(405,832千円)

- ◎校舎等耐震補強等事業費（桜小） 8,032千円(18,600千円)
- ◎校舎等改築事業費（手宮小、緑小） 45,052千円(60,332千円)
- 校舎耐震補強及び大規模改造事業費（長橋中、桜町中） 330,004千円(337,263千円)

- ☆⑥ 幼稚園就園奨励費補助金 121,409千円(124,506千円)
  - ・保護者の所得状況に応じ、保育料、入園料を減免する幼稚園に補助し、保護者負担を軽減
  - ・変更点：補助単価の引き上げ
- ☆⑦ 放課後児童健全育成事業費 92,459千円(96,120千円)
  - ・特別支援学級在籍児童等の受入延長：平成23年度まで1～4年生→1～6年生 市内を6ブロックに分け、平成24年度は2ブロックで開始
  - ・土曜日通年開設校の拡大：平成23年度6校 → 平成24年度8校
- ☆⑧ 教育支援活動推進事業費 1,000千円(1,000千円)
  - ・小学校で地域のボランティアの協力により「おたる地域子ども教室」「学校支援ボランティア活動」を実施しているが、中学校においても「学校支援ボランティア活動」（部活動の外部指導）を拡大
- ⑨ 新共同調理場建設事業費 848,165千円(897,313千円)
  - ・新光・オタモイ両共同調理場を統合し、新共同調理場を建設
  - ・平成23年度 土地取得、基本設計、実施設計、地質調査
  - ・平成24年度 施設建設工事
  - ・平成25年度 施設建設工事、供用開始
- ⑩ 特別展開催経費（文学館） 215千円(240千円)
  - ・市制施行90周年記念事業「岡田三郎と庁立小樽中学校」
  - ・開催期間：平成24年9月8日～11月4日
- ⑪ 特別展開催経費（美術館） 2,672千円(2,672千円)
  - ・「小樽へ結ぶ現代の風貌」
  - 1)「心の原風景—風土への賛辞 木嶋良治展」

- ・開催期間：平成24年5月26日～7月29日
- 2)「心の原風景―海への回帰 阿部典英展」
- ・開催期間：平成24年8月4日～9月17日
- ・「疾走するストローク 輪島進一展」
- ・開催期間：平成24年10月27日～12月16日

所得制限世帯 5,000円/月・人  
(所得制限は6月から実施、年収960万円を基準)

- ⑫ 企画展等開催事業費(美術館) 420千円(420千円)
- ・幌内鉄道全線開通130周年記念・市制施行90周年記念事業「銀河鉄道の夜～KAGAYA幻想の世界～」
- ・開催期間：平成24年12月22日～平成25年3月17日

## 2. とともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち(市民福祉)

- ☆① 地域生活支援事業費(成年後見制度利用支援) 20,493千円(23,462千円)  
一般会計2,696千円(3,534千円)、介護保険事業特別会計17,797千円(19,928千円)
- ・平成22年度に小樽市社会福祉協議会が開設した「小樽・北しりべし成年後見センター」の相談等件数増加に伴う職員増員への財政支援拡大と低所得者に対する後見人報酬を助成

- ☆② 地域生活支援事業費(相談支援) 27,100千円(27,410千円)
- ・障害者自立支援法改正法の施行に伴い、「サービス等利用計画」の作成など障害福祉サービス相談等の体制を強化するため、専従の相談支援専門員を市内の相談支援事業所へ配置
- ・平成23年度 1箇所 → 平成24年度 4箇所

- ③ 児童手当経費 1,273,959千円(1,274,240千円)
- ・次代の社会を担う児童の成長及び発達に資するため、児童を養育している方に支給
- ・支給対象：0歳から中学校終了前の児童を養育している方
- ・支給額
 

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 3歳未満   | 15,000円/月・人       |
| 3歳～小学生 | 第1・2子 10,000円/月・人 |
|        | 第3子以降 15,000円/月・人 |
| 中学生    | 10,000円/月・人       |

- ④ 子ども手当経費 273,591千円(294,791千円)
- ・平成24年2・3月分を平成24年6月に支給。平成24年4月分からは、児童手当に制度変更(支給額は児童手当と同様)

- ⑤ ファミリーサポートセンター事業費 5,905千円(6,076千円)
- ・育児の援助を受けたい人(依頼会員)と、育児の援助を行いたい人(提供会員)が地域の中で助け合いながら子育てをする、会員制の援助活動事業を民間事業者へ委託(平成23年10月より開始)
- ・活動内容：会員宅での預かり、保育所等への送迎等

- ◎⑥ 障害児相談支援事業費 2,073千円(2,147千円)
- ・障害者自立支援法改正法の施行に伴い、「支援利用計画」の作成など、障がい児の相談支援体制を強化するため、こども発達支援センターが事業者指定を受け相談支援専門員を配置

- ◎⑦ 保育所建設事業費(奥沢保育所) 9,230千円(19,200千円)
- ・奥沢保育所(昭和47年建設)の老朽化に伴う改築
  - ・平成24年度 実施設計、地質調査、測量調査
  - ・平成25年度 新園舎工事
  - ・平成26年度 供用開始

- ⑧ 介護保険事業(地域支援事業費関係) 2,894千円(3,354千円)
- ☆介護予防サポーター養成事業費 1,395千円(1,854千円)
- 介護予防活動のリーダーとなるサポーター養成講座の開催と、各包括圏域で包括支援センター及びサポーターが中心となって地域版介護予防教室を継続的に開催

- ◎スポーツクラブ委託型介護予防事業費 1,499千円(1,500千円)
- 65歳以上の高齢者を対象に介護予防を目的とするストレッチ、筋力トレーニング

グ、有酸素運動等の運動教室を通年開催

を策定（平成25～34年度）

◎⑨ 救急医療を考える市民懇話会開催経費 145千円(190千円)

- ・夜間救急における適切な受療行動などについて認識を深めるための懇話会や啓発セミナーを開催

⑩ 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業費 61,308千円(109,058千円)

- ・子宮頸がん等ワクチンについて、緊急に対象年齢層へ予防接種を提供し健康維持を促進  
(平成23年度終了予定→平成24年度末まで延長)
- ・対象者 子宮頸がん予防ワクチン 中学1年生～高校1年生相当の女子  
ヒブワクチン 2か月～5歳児未満の乳幼児  
小児用肺炎球菌ワクチン 2か月～5歳児未満の乳幼児

⑪ がん検診推進事業関係 66,986千円(96,411千円)

- ・各種がん検診 48,353千円(58,688千円)  
職場で検診を受ける機会のない自営業の方、主婦、高齢者などで40歳以上の市民を対象としたがん検診と、20歳以上の女性を対象とした子宮がん検診を実施
- ・検診種別 40歳以上の方 胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診（女性のみ）  
20歳以上の女性 子宮がん（子宮頸がん）検診
- ・延べ受診者数 15,082人
- ・がん検診推進事業費 18,633千円(37,723千円)  
特定の年齢に達した男女に対して、検診手帳及び検診費用が無料となる「がん検診無料クーポン券」を送付し、がん検診の受診を促進  
子宮頸がん 20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の女性  
乳がん 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の女性  
大腸がん 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の男女
- ・延べ受診者数 2,688人

◎⑫ 健康増進計画事業費 295千円(500千円)

- ・本市の健康づくりの指針である小樽市健康増進計画「第2次健康おたる21」

⑬ 新夜間急病センター建設事業費 171,640千円(184,066千円)

- (事業費のうち9,566千円は23年度から繰越明許)
- ・済生会小樽病院の移転に伴い、併設されていた夜間急病センターを新たに建設
- ・平成23年度 土地取得、実施設計、地質調査
- ・平成24年度 旧市立病院看護師宿舎解体工事  
新夜間急病センター建設工事
- ・平成25年度 医療機器等購入、供用開始

☆⑭ 周産期医療支援事業費補助金 13,050千円(14,170千円)

- ・周産期母子医療センターである小樽協会病院に対し、北しりべし定住自立圏構成6市町村で財政支援

⑮ 病院統合新築事業 877,682千円(886,093千円)

- ・小樽病院と脳・循環器・こころの医療センターを統合し新市立病院を建設
- ・平成22年度 基本設計
- ・平成23年度 実施設計
- ・平成24年度 旧量徳小学校解体工事  
新市立病院建設工事
- ・平成25年度 本体建設工事
- ・平成26年度 本体建設工事、新市立病院供用開始、  
旧小樽病院解体工事
- ・平成27年度 駐車場整備工事

### 3. 安全で快適な住みよいまち（生活基盤）

① 配水管整備、改良工事及び消火栓整備 914,663千円(958,650千円)

- ・配水管整備工事 449,662千円(459,818千円)  
市内一円配水管布設 L=6,080m
- ・改良工事（老朽施設等更新改良工事ほか） 463,058千円(496,848千円)

豊倉浄水場中央監視制御設備工事ほか

- ・消火栓整備 消火栓1基新設 1,943千円(1,984千円)

② 污水管・雨水管整備及びポンプ場・処理場の更新

- 1,060,224千円(1,357,026千円)
- ・污水管整備 246,950千円(246,950千円)  
勝納地区等更新(L=545m)ほか
- ・雨水管整備 14,803千円(16,000千円)  
雨水管新設(勝納排水区測量調査委託ほか)
- ・ポンプ場の更新 217,692千円(305,000千円)  
入船污水中継ポンプ場電気設備更新ほか
- ・処理場の更新 580,779千円(789,076千円)  
中央下水終末処理場水処理施設受変電設備更新ほか  
※処理場の予算額789,076千円のうち140,000千円は、平成25年度へ繰越

- ◎③ 橋りょう長寿命化修繕計画策定事業費 3,129千円(3,500千円)
- ・市内の橋りょう135橋について修繕及び架け替えの必要性を点検し、計画的な維持管理を実施するための計画を策定(平成24~25年度)

- ④ バリアフリー等住宅改造資金関係 19,223千円(27,439千円)
- ・バリアフリー等住宅改造資金貸付金 18,259千円(26,306千円)  
・住宅のリフォーム工事や高齢の方や身体に障害のある方のために住宅のバリアフリー等改造工事を行う際に、その工事に要する費用の一部を無利子で融資
  - ・平成21年度まで バリアフリー改造工事 上限額200万円  
無落雪屋根等改造工事 上限額100万円
  - ・平成22年度から バリアフリー工事 上限額200万円  
リフォーム全般(無落雪、耐震補強を含む) 上限額200万円  
※平成22年度から3年間、施工業者を市内の事業者に限定
  - ・バリアフリー等住宅改造資金負担金 964千円(1,133千円)  
・バリアフリー等住宅改造資金貸付制度に基づく融資の利子補給分

- ◎⑤ 住宅リフォーム助成事業費 16,677千円(21,200千円)

- ・「小樽市住宅リフォーム助成条例」に基づき、住宅リフォームに要する費用の一部を助成し住環境の整備並びに市内産業の活性化を促進
- ・対象者 市内に住所を有する者  
リフォームを行う住宅の所有者であり、かつ当該住宅に居住している者  
市税を滞納していない者  
前年度の所得が5,500千円以下の者
- ・対象工事 市内建設業者が行うリフォーム  
50万円以上の費用を要するリフォーム
- ・補助金の額 リフォームに要する費用の1/10で上限20万円  
(省エネ改修工事費が30万円以上になる場合は上限額30万円)

※)バリアフリー等住宅改造資金貸付金との重複申請はできない

- ⑥ 臨時市道整備事業費 475,599千円(482,276千円)
- ・市民生活の安全及び円滑な交通を確保するため、道路改良を実施 377,000千円(383,120千円)

- ・整備実施 31路線
- ・(学校再編関連)桜小学校と潮見台小学校通学路の歩道新設工事を実施 98,599千円(99,156千円)  
(事業費のうち30,000千円は23年度から繰越明許)

- ⑦ ロードヒーティング更新事業費 80,557千円(83,200千円)
- ・老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新
  - ・桜1号線 228m更新

- ◎⑧ 銭函地区河川防災事業費 23,006千円(26,000千円)
- ・大雨等による銭函地区の浸水被害防止のため、緩勾配河川に溜まった土砂を取り除き河川の機能回復を図る防災事業を実施(平成24~28年度)
  - ・対象河川:ポンナイ川、ポンナイ第2川、旧星置川、谷地川、銭函石山沢川、銭函川

- ⑨ 旧国鉄手宮線整備事業費 194,418千円(199,090千円)
- ・平成21年度に策定された旧国鉄手宮線の活用計画に基づき、観光客の回遊性の向上や時間消費型観光の促進のため、中心市街地の新たな観光資源として旧国鉄手宮線を整備
  - ・平成22年度 「旧色内駅ステーション」整備
  - ・平成24年度 旧手宮線用地取得、測量設計
  - ・平成25年度～27年度 散策路・広場整備

- ⑩ 市営住宅改善事業費 323,789千円(328,490千円)
- ・「小樽市公共賃貸住宅長寿命化計画」に基づき、老朽化した市営住宅を計画的に改修
  - ・若竹住宅1号棟耐震・リモデル工事
  - ・長寿命化改善 塩谷C1：外壁、屋根改修  
新光F53-4：外壁改修
  - ・地上デジタル放送対応工事(アナログ放送設備撤去)

- ⑪ 公営住宅建替事業費 336,497千円(389,315千円)
- ・オタモイ地区の老朽化した市営住宅を建て替え、4号棟を建設
  - ・建築工事：オタモイ4号棟 45戸 平成23・24年度
  - ・本体工事費：589,765千円(平成23年度256,463千円、平成24年度333,302千円)

- ☆⑫ 防災関係経費(避難所機能強化事業) 5,683千円(7,400千円)
- ・災害発生時の避難所(68か所)の受入体制強化のため、計画的に非常用食糧や防寒対策用品等を配備
  - ・防寒対策用品等は6か年、避難所標識の新設及び更新は5か年で整備
  - ・平成24年度は津波避難所22か所を先行して配備

- ◎⑬ 北海道総合行政情報ネットワーク改修事業費負担金 2,419千円(2,429千円)
- ・災害時の情報提供ほか北海道と市町村を結ぶ防災行政無線の機能向上のための設備更新に係る負担金(道内全市町村で負担)

- ⑭ 高機能消防指令センター整備事業費 307,200千円(534,316千円)
- ・消防救急無線のデジタル化に対応する高機能消防指令センターを3か年で導入整備
  - ・平成23年度：実施設計
  - ・平成24年度：消防本部指令室改修工事、高機能消防指令センター機器導入等
  - ・平成25年度：旧指令室改修工事等

- ⑮ 救急業務高度化推進事業費 47,431千円(52,692千円)
- ・普通救急自動車を高規格救急自動車に更新
  - ・高規格救急自動車の更新

- ◎⑯ 消防救急無線デジタル化事業費 6,227千円(6,227千円)
- ・平成28年5月末の消防救急無線のデジタル化移行に対応するため、4か年で施設整備
  - ・平成24年度：基本設計
  - ・平成25年度：実施設計
  - ・平成26年～27年度：基地局等設備工事

#### 4. 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち(産業振興)

- ① 道直轄工事費負担金(塩谷地区水産環境整備事業) 12,982千円(13,000千円)
- ・塩谷地区(文庫歌)の水質保全及び良質な漁場環境への改善を図るため、海岸土砂崩落防止工事を実施
  - ・平成23年度：設計、測量
  - ・平成24年度：法切工7,000㎡ほか
- ※道直轄事業 平成24年度事業費129,820千円(うち市負担10/100=12,982千円)

- ② 忍路漁港整備関連事業関係 7,599千円(13,200千円)
- ・円滑な漁業活動、安全及び快適な漁業就業環境の創出を図るため、平成23年度より本漁港の整備を推進するとともに関連事業を実施

- ・忍路区域藻場造成事業費 1,974千円(2,000千円)

石灰藻の繁殖により、ウニやアワビの餌となるコンブ等の生育に影響を及ぼしていることから、岩盤を覆う石灰藻を除去し、コンブ等の発生しやすい環境へ改善(平成23年度～24年度)

・平成23年度：石灰藻剥離 3地区 A=450㎡

・平成24年度：石灰藻剥離 3地区 A=450㎡

※市事業 平成24年度事業費1,974千円

(道補助金 1,184千円、市負担 790千円)

・道直轄工事費負担金(忍路漁港整備事業) 5,625千円(11,200千円)

西防波堤・西護岸・物揚場・船揚場の新設等(平成23～26年度)

平成23年度：測量、調査、設計

平成24年度～平成26年度：防波堤等新設工事

※道直轄事業 平成24年度事業費 70,310千円

(うち市負担8/100= 5,625千円)

③ 後志管内水産加工品評会実行委員会補助金 100千円(100千円)

- ・後志管内における水産加工品の品質向上と新製品の開発及び加工技術の交流を深め、消費の宣伝と拡大を促進し、地域産業である水産加工振興の一助とすることを目的に開催した、後志水産加工品ブランド品評会に対し補助金を支出

◎④ 高校生就職スキルアップ支援事業費 1,260千円(1,260千円)

- ・高校生の市内企業への定着を図るため、就職希望の生徒・担当教諭、企業採用担当者が就職情報を共有できる機会を設定
- ・地元高校生のスキルアップを促進するため、主に高校1・2年生を対象に事業所実習・視察、個人面談、キャリア支援出張授業等を実施

☆⑤ 東アジア等販路拡大支援事業費 1,030千円(3,640千円)

・通関等費用助成(平成22年度開始)

新たに海外に商品輸出する際の輸出手続等に要する費用を助成

(平成24年度拡大分)

対象国：中国のみ → 東アジア等

対象港：小樽港のみ → 小樽港、石狩湾新港

・商談会・展示会補助(平成23年度開始)

東アジア等への販路拡大を目的とした商談会・展示会への参加費用を助成

助成額：出展費用、渡航費用等の1/2(上限150千円)

◎⑥ 「小樽の食品」海外販路開拓支援事業費 10,272千円(10,716千円)

- ・東アジア等への進出に意欲のある企業を募集し、販路開拓に効果的な海外見本市へ出展するとともに、市場調査、地場製品のPR及びビジネスチャンスを創出

⑦ 商店街活性化支援事業費 2,198千円(2,200千円)

- ・活力ある商店街の形成を図るために、商店街を活性化する事業を実施する団体へ助成
- ・対象事業 ①商店街の集客強化のための催事事業(イベント事業)  
②商店街の魅力向上のための宣伝事業(情報発信事業)
- ・補助対象 事業費の1/2以内  
(事業費1,000千円未満→限度額100千円、事業費1,000千円以上→限度額200千円)

⑧ にぎわう商店街づくり支援事業費 3,012千円(3,600千円)

- ・小樽市商店街振興組合連合会に属する商店街が、中心市街地活性化に寄与するために独自に企画・実施する活性化事業に助成
- ・対象事業 商店街が新たに取り組む事業または既存の事業内容を拡大、発展させる事業
- ・助成金額 事業費の1/2(限度額600千円)

◎⑨ 小樽ブランド力推進事業費 7,350千円(7,350千円)

- ・ブランド力の向上を図るため、顧客ニーズや市場動向等の情報収集を行い、顧客目線を重視した既存商品の磨き直しや新商品開発のコーディネートを継続的な販路確保とともに実施

◎⑩ 地場産品導入促進事業費 1,795千円(2,000千円)

- ・地域資源であるガラスの浸透と活用を促進するため、小学生の卒業記念としてガラス製品の製作体験を行う費用を「卒業記念ガラス製作体験実行委

員会」へ補助

- ◎⑪ 企業立地トップセミナー開催事業費 2,175千円(2,300千円)  
・本市への企業立地を促進するため、地方での事業展開を検討中の首都圏企業等を対象に、市長によるトップセミナーを東京において開催

- ☆⑫ 小樽国際インフォメーションセンター事業費 11,500千円(11,500千円)  
・市内3か所の観光案内所でローテーション対応していた外国語通訳(英語、中国語、韓国語)を運河プラザに集約し、国内外の観光客に対する総合窓口を開設

- ☆⑬ 東アジア圏観光客誘致広域連携事業費補助金 3,500千円(3,500千円)  
・日中国交正常化40周年記念事業として、ニセコ町、倶知安町と共同でスポーツ観光フォーラムやゴルフ大会の誘致及び旅行会社やメディア招聘によるPRを実施したほか、札幌市も加えた4市町村連携で北京のMICEキーパーソンを招聘しPRを実施

※MICE…企業等の会議、報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議、イベント、展示会・見本市などを包括した新しい集客施策の枠組み

- ◎⑭ 環日本海クルーズ推進事業費 3,323千円(3,323千円)  
・日本海側拠点港に選定された小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港3港が連携してクルーズ客船の誘致活動や情報収集等を実施

- ◎⑮ 「小樽の森」構想実現化に向けた検討委員会補助金 16,500千円(16,500千円)  
・平成22年度に市の事業として実施した、「天狗山観光推進検討委員会」からの提言を踏まえ、新たに設置された「小樽の森」構想実現化に向けた検討委員会への補助金を支出

- ◎⑯ 港湾計画改訂事業費 7,959千円(8,000千円)  
・港湾計画改訂の一環として、小樽港に関する市民の印象や意見を把握するための市民アンケートの実施及び、第3号ふ頭及び周辺再開発計画(素案)の作成

- ◎⑰ 維持管理計画策定事業費 3,884千円(4,200千円)  
・臨港地区の橋りょうに係る点検及び維持管理計画を策定  
対象施設 勝納大橋、月見橋、旭橋

- ⑱ 国直轄工事費負担金 24,124千円(45,000千円)  
・老朽化した防波堤の改良による施設の延命化  
・平成22年度まで：調査・設計、漁業補償、根固工(L=382m/港外)、被覆工(L=32m/港外、L=370m/港内)  
・平成23年度：根固工(L=70m/港外)、被覆工(L=70m/港内)  
・平成24年度：被覆工(L=146m/港内)  
※国直轄事業 平成24年度全体工事費 155,000千円  
(うち市負担1.5/10=23,250千円、前年度精算追徴金 874千円)

- ⑲ 第3号ふ頭周辺利用高度化事業関係 31,581千円(33,483千円)  
・現状の荷役作業との協調を図りながら、クルーズ客船対応としての環境整備や物流・交流空間としての基盤整備を進め、第3号ふ頭及び周辺の利用高度化を推進

- ・合同庁舎周辺整備事業費 10,582千円(10,712千円)  
第3埠頭中央線 道路改良 L=82.5m

- ・第3号ふ頭岸壁改良事業費 20,999千円(22,771千円)  
14番岸壁 エプロン舗装 A=2,377㎡ 設計委託一式

- ◎⑳ 岸壁附帯施設改修事業費 59,632千円(59,632千円)  
・老朽化したエプロン舗装の改良による施設の延命化及び大型クルーズ客船の寄港に対応可能な係船柱などの機能強化  
・勝納ふ頭2、3番岸壁 係船柱 N=4基 防舷材 N=10箇所  
設計委託一式

## 5. 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち(環境保全)

- ① 北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 1,372,194千円(1,372,194千円)

- ・北しりべし廃棄物処理広域連合(小樽市、積丹町、古平町、余市町、仁木町、赤井川村)によるごみ焼却施設及びリサイクルプラザの運営に要する経費

◎② 次期廃棄物最終処分場検討業務費 2,992千円(3,000千円)

一般会計 1,367千円(1,371千円)、産業廃棄物処分事業特別会計 1,625千円(1,629千円)

- ・既存資料を基に次期処分場候補地としての課題の整理及び、施設規模等について検討

◎③ 環境基本計画策定事業費 1,027千円(1,612千円)

- ・平成22年6月制定の「小樽市環境基本条例」の基本理念実現に向けた環境施策の具体化を図るため環境基本計画を策定(平成24～27年度)
- ・平成24年度 基礎調査
- ・平成25年度 基礎調査、市民アンケート、計画(素案)の検討
- ・平成26年度 計画(案)を環境審議会へ諮問・答申、計画決定
- ・平成27年度 計画の施行、公表

◎④ 環境教育推進事業費 1,000千円(1,000千円)

- ・ごみの処理等を学習する小学4年生を対象とした、北しりべし広域クリーンセンター見学会を開催
- ・太陽光や風力発電などの再生可能エネルギー体験学習セットを購入し、小学校へ貸出

⑤ 公園施設長寿命化計画策定事業費 7,665千円(8,000千円)

- ・老朽化した公園施設の更新やバリアフリー化を計画的に行うための「公園施設長寿命化計画」を策定(平成23～24年度)
- ・平成23年度：計画準備、現地調査、健全度(危険度)判定
- ・平成24年度：修繕(改築)計画策定、施設保全計画策定

## B【その他の施策】

◎① 市制施行90周年記念事業費 435千円(600千円)

- ・平成24年8月1日に市制90周年を迎えるにあたり記念式典等を開催  
記念式典 平成24年8月1日 市民センターマリンホール

記念公開番組 平成24年11月11日 市民会館  
(NHK-B S 子ども向け番組の公開収録)

その他 広報おたるによる特集記事  
特別展開催経費(文学館)  
企画展等開催事業費(美術館)  
帆船日本丸一般公開負担金

◎② 本庁舎関係施設改修事業費 29,505千円(29,514千円)

- ・別館屋上防水工事 22,502千円
- ・議事堂改修等工事(電灯設備改修、スタンドグラス保護工事) 7,003千円

◎③ 有害鳥獣駆除対策経費(シカ・クマ緊急対策) 416千円(490千円)

- ・近年市街地に頻出するシカ・クマ対策として、捕獲器と注意看板を整備

◎④ 戸籍事務関係 8,968千円(9,817千円)

- ・戸籍受付システム更新経費 8,968千円(9,817千円)  
戸籍附票データを基本とした受付システムの安定稼働を目的としたシステム更新

・戸籍事務電算化事業費 一千元

- ・紙で管理している戸籍(除籍・改製原戸籍含む)をデータ化し、磁気ディスク管理することにより戸籍届出処理や証明書発行の適正化・迅速化及び災害発生時の滅失等からの危機を防止
- ・総事業費 610,414千円 ※H24～H33債務負担、H26システム稼働後より費用負担開始
- ・平成24～25年度 戸籍データ化作業
- ・平成26年度 システム稼働

◎⑤ 合同墓建設事業費 6,657千円(7,500千円)

- ・少子高齢化や核家族化などにより墓の継承や維持管理が困難な方、経済的理由などでやむを得ず納骨ができない方などが自宅でお骨を保管せざるを得ない状況を解消するため、市営中央墓地内に合同墓を建設

(平成24年10月より供用開始)

- ☆⑥ 総連合町会補助金 12,836千円(12,836千円)
- ・生活環境の整備や青少年の健全育成など町会活動の円滑な推進を支援するため総連合町会へ助成(平成24年度拡大分)
  - ・単位町会補助金(世帯別) 180円/1世帯 → 200円/1世帯
- ⑦ 市独自の雇用対策 3,410千円(3,650千円)
- ・厳しい雇用情勢にかんがみ、市独自の雇用対策事業を以下のとおり実施
  - ・海水浴場・観光イベント等クリーンアップ事業費 1,985千円(2,000千円)
  - ・市内一円砂箱補充事業費 966千円(1,000千円)
  - ・於古発川店舗落雪対策事業費 459千円(650千円)
- ⑧ 緊急雇用創出推進事業 90,128千円(93,632千円)
- ・地域の雇用失業情勢が厳しい中で、離職した失業者等の雇用機会を創出するため、道に基金を造成し、市町村に補助金を交付
  - ・被災求職者及び平成23年3月1日以降に離職した失業者を対象に、雇用の場を確保し、生活の安定を図る目的で、以下の事業を実施
  - ・観光イベントにおける「食」との連携及び「国際化」推進事業費 1,852千円(1,861千円)
  - ・戦略的ツーリズムインフォメーション展開事業費 3,341千円(4,000千円)
  - ・地域観光マーケティング支援事業費 6,405千円(6,405千円)
  - ・「職人のまち」小樽の伝統文化・技術継承支援事業費 9,656千円(10,766千円)
  - ・「小樽の食品」海外販路開拓支援事業費 10,272千円(10,716千円)
  - ・環日本海クルーズ推進事業費 3,323千円(3,323千円)  
(うち緊急雇用創出推進事業費分1,904千円(1,904千円))
  - ・中国・韓国人観光客に対応する人材育成事業費 35,000千円(35,000千円)
  - ・海岸不法投棄監視及び環境保全事業費 20,370千円(21,000千円)
  - ・福祉除雪サービス緊急対策事業費 1,328千円(1,980千円)

- ⑨ 地域経済活性化等推進資金基金活用事業 23,445千円(26,973千円)
- ・平成21年度の地方交付税において、新たに「地域雇用創出推進費」が創設され、本市に交付された279,000千円のうち、261,000千円を基金に積み立て、地域の雇用維持・創出及び地域経済の活性化に資する事業に活用することとし、平成24年度は以下の事業を実施
  - ・東アジア圏観光客誘致広域連携事業費補助金 3,500千円(3,500千円)
  - ・環日本海クルーズ推進事業費 3,323千円(3,323千円)  
(うち基金充当額1,419千円)
  - ・東アジア等販路拡大支援事業費 1,030千円(3,640千円)
  - ・地場産品導入促進事業費 1,795千円(2,000千円)
  - ・小樽ブランド力推進事業費 7,350千円(7,350千円)
  - ・企業立地トップセミナー開催事業費 2,175千円(2,300千円)
  - ・高校生就職スキルアップ支援事業費 1,260千円(1,260千円)
  - ・にぎわう商店街づくり支援事業費 3,012千円(3,600千円)

## C【国の経済対策関連事業】

- ・国の予備費関連

「日本再生戦略」における重点3分野(グリーン、ライフ、農林漁業)をはじめとする施策の実現前倒し、東日本大震災からの早期の復旧・復興及び大規模災害に備えた防災・減災対策のため、経済危機対応・地域活性化予備費及び復興予備費の活用が閣議決定され、以下の事業を前倒し実施

- ・岸壁附帯施設改修事業費 ー千円(44,000千円)  
(全額を25年度に繰越明許)
- ・校舎等耐震補強等事業費(桜小) ー千円(266,284千円)  
(全額を25年度に繰越明許)

- ・国の補正予算関連

日本経済再生に向けて、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起す

る成長戦略のいわゆる「三本の矢」の取組みの第1弾として計上された大型補正予算に対応し、以下の事業を前倒し実施

- ・岸壁附帯施設改修事業費  
— 千円( 56,600 千円)  
(全額を25年度に繰越明許)
- ・旧国鉄手宮線整備事業費  
— 千円( 56,700 千円)  
(全額を25年度に繰越明許)
- ・都市公園安全・安心事業費  
— 千円( 31,500 千円)  
(全額を25年度に繰越明許)
- ・校舎等耐震補強等事業費(桜小)  
— 千円( 22,775 千円)  
(全額を25年度に繰越明許)
- ・市営住宅改善事業費(長寿命化改善事業費)  
— 千円( 88,280 千円)  
(全額を25年度に繰越明許)